

2021. 8. 30

宮崎公務公共一般労働組合

TEL : 0985-71-1924 FAX : 0985-71-1925

e-mail : soudan@miyazaki-kkirouso.jp

http://miyazaki-kkirouso.jp

## 「非正規職員の希望者全員を無期転換してください」 組合から宮崎大学学長へ8月5日付で要求書提出

公務公共一般労組は非正規職員による宮崎大学支部をつくり、宮大教組と共同して、5年間勤めた非正規職員を雇い止めせず、労働契約法に基づく無期転換（期限の定めのない労働契約に転換）を行うよう大学側へ要求し、2年前から団体交渉を継続してきました。これまでの経過をふまえて、大学側へ裏面に記載している要求書を提出しました。

大学側に対しては、宮大教組と連携して団体交渉を継続しています。昨年1月の団体交渉では、大学側は前回回答の「試験による正規職員登用及び無期転換実施」を説明不足だったとして、「無期転換については選考とする」と回答しました。また、「3年雇い止め」の期限を延長する要求については「検討にもう少し時間がほしい」と答えました。

さらに、昨年12月団体交渉では、「農学部の有期契約職員のうちチェンソー業務等特殊な資格を必要とする職員について、契約期間3年を5年に延長する」確認を行いました。

これは特殊な資格が必要なごく一部の職員の雇い止め期限を延長した「小さな成果」ですが、交渉開始後2年間で初めての成果であり、「一点突破を実現し、希望者全員無期転換の要求実現へ展望を切り開いた」と評価できます。

昨年12月の団体交渉ではそのほか、①非正規職員の正規職員への登用については、2022年4月採用から実施する方向で、引き続き協議する、②「非正規職員全体の無期転換問題及び有期職員の原則3年上限の期限延長問題については、2021年4月以降に引き続き協議する、ことを合意しました。

8月に提出した要求書についての団体交渉は、一から始める訳ではなく、これまで2年間の団体交渉の積み上げによる到達点から出発します。昨年12月の交渉結果はコロナ禍の対応による「中間的回答」であり、無期転換実現は今後の交渉を盛り上げれば展望を切り開くことができます。

みんなでがんばりましょう！



2021年8月5日

国立大学法人 宮崎大学  
学 長 池ノ上 克 様

宮崎公務公共一般労働組合  
執行委員長 村 岡 弘 応

### 要求書及び団体交渉申し入れ書

貴法人におかれましては日々大学の運営ならびに職場環境の改善にご尽力いただいていることに敬意を表します。

さて、昨年度の第5回団体交渉（2020年12月16日）において、有期雇用に関わる問題に対し、法人側より一歩前進の回答が出されました。そこでの確認事項として、農学部の有期契約職員のうち特別な資格を有する職員については契約期間を5年まで延長すること、さらに非正規職員全体の無期転換問題、原則3年限度の期限延長問題や正規職員への登用問題について引き続き協議することが確認されました。

それらの問題の解決をはかることは、非正規職員の労働条件改善にとどまらず、大学の人材確保と運営にとっても大事なことだと考えられます。

つきましては、これまでの交渉の経過をふまえて下記の要求を提出します。これらの要求に係る団体交渉の早急な開催をお願いいたします。

### 記

#### 1 要求事項

(1) 非正規職員のうち希望者全員を無期雇用に転換すること。

なお、これまでの交渉において大学側は、「非正規職員の無期転換について、希望者を募って選考する。可能なら2021年4月からの実施をめざす」と回答しています。

(2) 3年上限の有期職員のうち、継続を希望する職員については、再度「有期3年」の継続を行うこと。また、その職員が5年経過した場合は、無期雇用転換の取り扱いを行うこと。

(3) 非正規職員の正規職員への登用制度を、2022年4月から実施すること。

(4) パート職員、有期職員（フルタイム）及び正規職員との労働条件の差を、政府の「同一労働同一賃金」方針に基づき、可能な限りなくすこと。特に、パート職員の健康診断の時間を職専免扱いにし、時給の引き上げも検討すること。

(5) 次の質問を行います。回答期日は交渉日程にかかわらず、早急な回答をお願いします。

年度末の2021年3月に退職した非正規職員の人数と職種及び年度初めの2021年4月の非正規職員採用者数と職種を教えてください。

#### 2 団体交渉の実施について

(1) 希望交渉日 2021年9月末日までに実施すること。なお、具体的な日時は連絡担当者と相談すること。

(2) 交渉場所 貴法人が指定する大学構内

以 上